

## 最新鋭の資機材で町民を守る

益城西原消防署の車両が更新

消防力の充実と救急体制の強化を図るため、2～3月にかけて、益城西原消防署の救急車と救助工作車が新しくなりました。

7月29日に同署で新車両が披露され、西村町長から署員への訓示と、署員による新車両を用いた訓練が行われました。

新車両は、どちらも最新鋭の資機材を搭載しており、救急事案や災害などが発生した場合に、より迅速で高度な救助活動が可能となります。



最新鋭の資機材を備えた救助工作車と救急車



頂いた飲料を飲んで暑い夏を乗り切ります

## 水分補給で熱中症対策

サントリーホールディングス(株)から飲料などの贈呈

7月30日、サントリーホールディングス(株)(東京都)から町内の小学生に熱中症対策飲料とオリジナル下敷きが贈呈され、広安西小で贈呈式が行われました。

これは、熊本地震直後から復興支援活動を行ってきた同社が、新型コロナウイルスの影響でスポーツ教室などの支援活動ができない中でも、心の復興に貢献したいとの思いから行ったものです。

式では、同社九州熊本工場の大下勝巳工場長が児童に、飲料などを直接手渡しました。

## 災害で生まれた新たな絆

マスクを寄贈いただきました

8月12日、NPO 法人益城だいすきプロジェクト・きままに(吉村静代代表)から、メッセージ付き手作りマスク1000枚が寄贈されました。

このマスクは、(株)フェリシモ(兵庫県)が全国に作成を呼び掛けて約1万枚集めたものです。熊本地震後から交流している同NPO法人に一部の配布が委託され、町内の災害公営住宅と保育所に配布されます。

吉村代表は、「マスクだけでなく、これからも新たなコミュニティづくりの活動を続けていく」と話しました。



心のこもったマスク、ありがとうございます

Pickup Plus+  
今月のプラス



まちづくり協議会からの提案を踏まえ、各地区に避難広場と緑地公園が整備されています。その中の1つ広崎緑地公園で7月26日、草取り、清掃活動が行われました。広崎1町内に住む30人が、4,000㎡を超える広さの公園内を1時間30分かけて作業。そのかいがあり、きれいになった公園では現在、地区の子どもたちが楽しそうに遊んでいます。